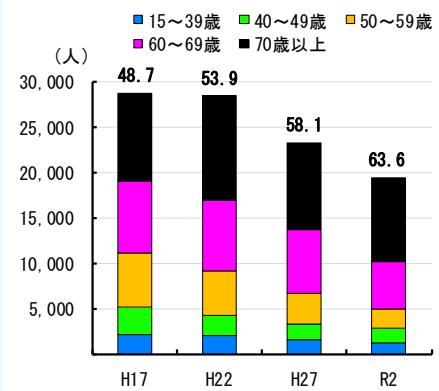


現状と課題

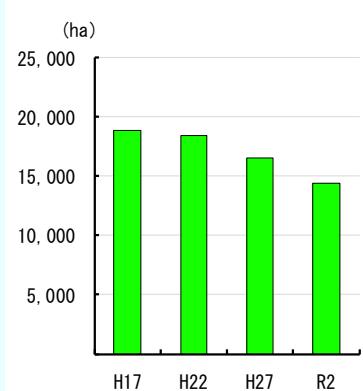
★農業者は減少し、高齢化も進行 (R2年の65歳以上の割合:約64%)

- 労働力不足による経営耕地面積の減少
- 適期の管理不足による農産物の品質低下 (所得の減少)

防除用ドローンなど省力的なスマート農機の普及が必要



年代別の基幹的農業従事者数の推移
注) グラフ上の数値は65歳以上の割合

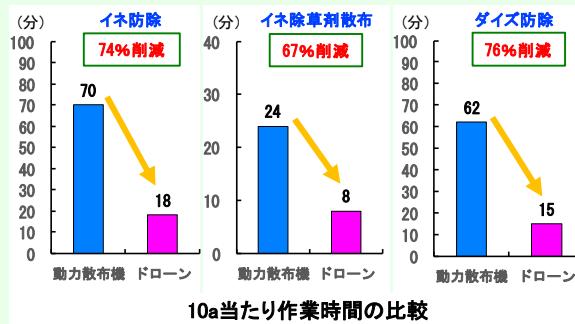


経営耕地面積の推移

これまでの取組

★スマート農業技術の実証

- ◆水田センサー
イネの水管理 (見回り時間) が**約20%削減**
- ◆防除用ドローン
 - ・イネ防除では**74%削減 (18分/10a)**
 - ・イネ除草剤散布では**67%削減 (8分/10a)**
 - ・ダイズ防除では**76%削減 (15分/10a)**
 - ・ユズ防除では**83%削減 (15分/10a)**
- ◆空撮用ドローン (センシング)
 - ・業務・加工用キャベツの画像解析による欠株**判定精度90%**
 - ・露地ショウガの土壌病害診断を目的とした撮影条件やアプリの開発検討
- ◆現地実演会・セミナーの開催
19回、延べ336名参加



業務・加工用キャベツの空撮データ

★スマート機器の導入支援 (防除用ドローン)

R3年度末:**39機**、他に試験研究機関等**3機**
R4年度:生産現場に**5機** (スマート農業推進事業での導入)

★ドローン防除用農薬の適用拡大

3品目 (ショウガ、ユズ、土佐文旦) で18剤の適用拡大試験を実施
→ ショウガ**13剤**で適用拡大

防除用ドローンの普及状況

【県西部を中心に **51機**】

※事業導入以外も含む

県中部 : 15機

県西部 : 33機

県東部 : 3機

普及経過

年度	普及台数	累計
~R2	32機	32機
R3	7機	39機
R4	12機	51機

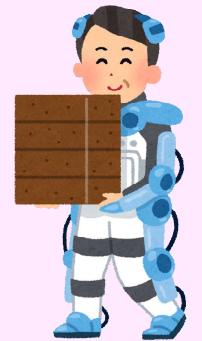
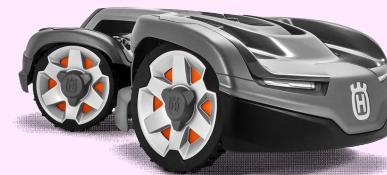
ドローンの普及

導入支援に加え

今後の取り組み

★防除用ドローン以外のスマート農機への展開★

- ◆自律・リモコン式草刈機 (樹園地・水田畦畔等)
- ◆アシストスーツ (収穫・出荷作業等)等



★スマート農業技術の実証

- 実演会やセミナー等による生産者への周知・啓発 (中山間地域)

★スマート機器の導入支援

- 地域営農支援事業費補助金 (集落営農組織)
- スマート農業推進事業費補助金 (地域中核農家等) 等

★ドローン防除用薬剤の適用拡大

- 高知県特産品目への適用拡大試験の実施 (ショウガ、ユズ、土佐文旦、オクラ)



スマート農業技術の普及